

(主人公：佐伯堇（サエキスマイレ）。女子高生。三十代の男によって憑依（身体を乗っ取られること）されてしまっている）

(堇の部屋)

(既に堇の中身は三十代の男のモノ)

(タイトル読み上げ)「憑依 AV、JK 堇（スマイレ）編」(ここまで)

(カメラに向かって) よいしょ……っと。えーっとこれで録画開始……できてるよな。

よしよし。

(声を確かめるように) あー、あー。

(嬉しそうに) ひひ、ちゃんと堇（スマイレ）ちゃんの声……だ。

画面に可愛い顔が映ってるぜえ。

(喉を整える) ん、んん、んッ。

(堇のフリ)「えーっと、私の名前は佐伯堇（サエキスマイレ）。現役の JK でーす。部活はダンス部！ 友達と TikTok にダンス動画をあげるのが趣味。よろしくお願いまーす」

(ここまで)

うーん、自己紹介にしちゃあ、ちょっと地味すぎるかなあ。もっと過激な方が売り物にはなるか……。

(菫のフリ)「私は佐伯菫(サエキスマレ)。エッチが大好きなJK。ホントはあ勉強なんか大っ嫌い。頭の中はオナニーとセックスのことで一杯の女の子なの。今日は菫のエッチな姿、たっくさん見て帰ってねえ」(ここまで)

(ニヤリ) なあんで、な(ここまで)

よーし、今日はこんな感じのキャラでいくか。この女、真面目そうな見た目だからな。ギャップ萌えてやつ狙ってくるか。

憑依(ヒョウイ)AV。

なんだかんだ売り上げがいいのは、エロと無縁そうな女子の痴態(チタイ)と、人妻の寝取りモノなんだよ。

ひひ、先月販売した結婚ぶち壊しモノとか馬鹿みたいに売れたもんなあ。婚約者持ちの女に憑依して俺の体とセックス。その映像を婚約者に送りつけてその反応を楽しむっつう動画。

(イヤらしい笑い) ふ、ふふふ。

ま、それに比べたら今日の動画は王道だよなあ。

美少女JKのオナニーショー。下手な小細工はなし。純粋に素材で勝負！

素材……ねえ。

佐伯堇（サエキスマレ）ちゃん。

確かに……こいつはすげえ美少女だ。

堇ちゃんの同級生から「こいつに憑依してください」ってリクエストがあったんだよなあ。

送られてきた写真よりも……ふふーん、実物のが可愛いなんて、大当たりだったぜ。

憑依（ヒョウイ）。

俺の力。

堇ちゃんみたいな美少女でさえ俺の思うまま。

（悪っぽく）俺に目をつけられたが最後、どんな女の体だって俺のモノってわけだ。

この能力……自分のためだけじゃあなく、他の男たちのためにも使ってあげてるんだからなあ。褒めて欲しいくらいだぜ。にひひ。

俺がその気になれば、世界中の、どんな女だってカメラの前に引きずり出せるんだ。どんな演技だって思いのまま。

そりゃあ憑依 AV、売れるわけだよなあ。

みんな、気になる女のエロ動画が見られるんなら、いくらだって金払うからなあ。

金もがっばり手に入る。おまけに俺は女体の気持ちよさを味わえる。

(喜び) うーん、憑依最高！

(笑いながら) っと、ここら辺は全部あとでカットしねえと、なあ。

さてさて、そろそろ始めようか。堇ちゃんのお、オナニーショー。

(息を整える) ふう。

(堇のフリ)「はあい、それじゃあ、今から堇はみんなの前でオナニー、しちゃいます。私のオナニーを見ながら、みんなも自分のおちんちん、シコシコしてくれると嬉しいなあ」(ここまで)

それじゃあ、まずは服を脱いでっと。

(堇のフリ)「見てえこの制服。学校……バレちゃうかなあ。都内ではそこそこ有名な進学校なんだあ。頑張って入ったんだからあ」(ここまで)

(ゆっくり服を脱ぐ) よいしょッ……と。

はい、堇ちゃんのブラジャー。イメージ通り、真っ白なブラ。ということは下も白、なのかなあ？ そっちは後のお楽しみ、だねえ。

ではでは……ブラのホックを……っと。

(ブラを外す) ジャーン (外れる)

うわあ、綺麗な乳首い。ピンク色お。

みんな、見えるう？ 堇ちゃんの乳首。美味しそー。今すぐちゅばちゅば吸いつきたてえよなあ。

(揉む・小さな喘ぎ) ん、ふう……堇ちゃんのおっぱい……あ……柔らかーい。ぷにぷにって、ふわふわって。

はあ……んッ……あ……あ……ん。

おっぱい、おっぱいモミモミ。

んー、気持ちいいー。

(堇のフリ)「堇、おっぱい好き。おっぱい揉むの好きい。おっぱい揉んでるとね。あん……段々とエッチな気持ちで……あ……一杯になって、乳首がね、ビンビンになっちゃうのお」(ここまで)

大きすぎずう、小さすぎないい、いっちゃん揉み心地がいい、大きさのおっぱい……んん、柔らかあい。

はは、堇ちゃんの乳首、勃起してるう。

触って欲しそうにツンって勃ってる。

これをキュンッって摘(ツマ)むと……

(ビクン) あんッ！

おっほおー。

自然とエッチな声が口から飛び出ちゃうよお。

(ビクン) んッ！ (ビクン) んんッ！ (ビクン) んあッ！

乳首、すげえ。

(興奮して) はあ、はあ…… (ここまで)

さあてそろそろ……下の方もいじっちゃおうかなあ。

おっぱい揉んでるとよお……こっちも触ってくれって求めてくるみたいに、キュンキュンとしてくるんだよなあ。

(嬉しそうに) おまんこ。董ちゃんのまんこ (ここまで)

グチュグチュと濡れてる。触らなくっても、おパンツびしょびしょになってるの分かる。

チンコがない、女の股間。

(赤ちゃんに言うように) 董ちゃーん、おパンツ脱ぎ脱ぎ、しましようねえ (ここまで)

(下着を下ろす) ほーら、ほらほら。よいしょっと。

純白のパンティ。

にひ、雑巾みたいに絞ったら、菫ちゃんの愛液、ぽたぽたしてきそうなほど濡れてるねえ。

(下着の匂いを嗅ぐ) すんすん、すんすん (ここまで)

(恍惚) んんー、いい匂ーい。

さてさて、それではあ……

菫のおまんこ、ご開帳 (カイチョウ) でーす。

くばあー。

(菫のフリ)「あはっ、みんなあ、見えてるう？ 私の一番大事なところ。JKまんこ。みんなのことを思って濡れ濡れになっちゃった私のおまんこお。ここにみんなのおちんちん、入れて欲しいのお」(ここまで)

お、おお？ いいじゃーん、綺麗なおまんこお。ここ最近憑依した女の中でも一番綺麗かも知れねえなあ。

ビラビラの小陰唇。ぱっくり開いて中には膣口。チンコを入れるための穴。

指、入れちゃおうっと……、菫ちゃんの細い指を、おまんこ穴にい。

(指を入れる) ん……んん……ふう。

(嬉しそうに) 何度女に憑依しても、この感覚、慣れねえなあ。

男では体験できない、まんこの中に、指が入っていく……あん、感覚う。

ふあ……あ、あ、ん、あ……。

すげえ、ずぷずぷって、入ってくう。

ふーっ、ふーっ、んっ、ああッ。

いいじゃん、感じやすいじゃん、董ちゃんの体。

あ……つつい (= 熱い) 汁が奥から……あん、奥から溢れてくるう。

膣の壁を、擦るように……い、あ……指を動かすとお……んんッ、気持ちいい。

(興奮した息) ん、はあ、はあ (ここまで)

もう、クリ、硬く、なってる。

えへ、えへへ。

ここをキュッと……

(ビクン) あんッ! あ、ああ……。

やっぱ、ここだよなあ。ここ……あん、ここ……クリだよ、クリトリスう。

男にはない、快感を得るだけの、イヤらしい、女の部分……ん♡

はあ……んッ、あ、ああん……ん、く、くう、や、あ、ああ、んん……ふう、わ、あ、
いやあ、んんんッ、んあ！

(菫のフリ)「わ、私、佐伯菫(サエキスマイレ)は自分のクリトリスをコリコリいじって、
気持ちよくなっちゃう、イヤらしい女の子なんですう。もっと、もっと私のおまんこ気
持ちよくしてえ」(ここまで)

おまんこ、俺のまんこお。気持ちいいよお。

ほおら、菫ちゃん……君のオナニー、ちゃあんと、撮影してるからねえ。おっぱいも、
まんこも、お尻の穴もしっかり残してるからねえ。

みんなが君のオナニーを見て、んッ、画面の前で……ああん……センズリこいてるん
だからッ。

(菫のフリ)「嬉しい、みんなあ、私のエッチな姿をオカズに、たくさんおちんちんシコ
シコしてねえ。あんッ♡ 菫、おちんちんのことを考えるだけで、おまんこキュンキュン
させちゃうのお」(ここまで)

おほッ、おッ……あ、ああん、んあ、いい、いいよ……おまんこ、凄く、いいッ。

チンコとは全然違うう。女の気持ちよさッ。んあ！

凄え、カメラに映る、菫ちゃんの顔、凄えエッチだよお。

ああ、この女に、俺のチンコぶちこみてえよお。んあッ……子宮の入り口、ズンズン

ついて、あん……中出し決め込んで孕ませてえよお。

こ、この引き締まったまんこにチンコ入れ……たら、……くう、ぜってえ気持ちいい、
よ、なあ。

決めた、決めたよお。

次も絶対……君に憑依して、俺の作品に、出演して、貰うよ。

ん、はあ、はあ、あん、はあ……

俺のチンコを使って騎乗位。弾むおっぱい。揺れる尻。

へ、へへ。きっと凄えエロい作品が撮れるぜ。

ん、はあッ……

そうこう、してるうちに……この体、もう、イキそう、だぜ。

は、んふう、んはあ、ん、ああ、ああっ、あっ、つくう、い、イク、イク。

はあ、あ、ああんッ！

(菫のフリ)「みんなあ……私のイキ顔、ちゃあんと見てえ……んあああん！」(ここま
で)

ま……あ、あ、あ、ああ、ん、く、くッ、ふう……あ、って、ん、あああッ。

イク、マジで、もう、イク。

子宮がキュッと下に降りてきて……パクパク、パクパク、口を開けて、る。

んッ、膣が指を締め付け……てえ。

あ、あ、あ、あ、ああ、あああ……

(絶頂) ん、んあ、んんんッ……あッ！ イ、クううう！

(ビクン) あ……あ……ああ……

(荒い息) はあ……はあ……んッ……はあ……

(ニヤリ) 堇ちゃん……イっちゃったねえ……

(疲れた笑い) へへ、へへへ……

エッロい映像撮らせて貰っちゃたよお……

最高の売り物になるよお。

ありがとうね、堇ちゃん。

さあて、

(堇のフリ)「みんな、私のオナニー……どうだった？ 私のことを思ってたっくさん射精してくれたら嬉しいなあ」(ここまで)

なあんてな。

次はどんな女に憑依しようかなあ？

お客さん、こんな女に憑依してくれって、リクエストがあったら遠慮せずに、その女の写真を送ってくれよな。

にひひ。

と言うことでひとまず、董ちゃんとはお別れです。

(董のフリ)「じゃあねえ、バイバーイ」(ここまで)

(苦しい) ……ん……あ、ああ、くッ、う、ううう…… (ガクンと意識を失う)

(以下、董本人の意識に戻る)

(目覚める) ん……あ、あれ？

私……寝ちゃってた？

あれ？ 何をしてたん……だっけ？

(自分が裸なことに気が付く) え……？ え？ ええ！

何、これ？ 何これ！

私、一体、何を……してたの？

嘘お、どうして裸なのお！